

絹本着色地藏十王像

指定区分	国指定重要文化財(絵画)
読みかた	けんぽんちやくしよくじぞうじゅうおうぞう
所在地	笠岡市神島外浦 日光寺
指定年月日	明治34年8月2日
解説	大月輪内に正面向きに坐した地藏菩薩を中心に、前方左右に2人の菩薩、四天王、十王、道明和尚、俗形人物などを描いている。こうした構図は、唐の大暦年間に開元寺の道明和尚が死に、えん魔庁に墮ち十王の裁判を受けたが人違いと分かり、再びこの世に戻るとき、六道の救済者である地藏菩薩が出現したという説話にもとづいて描かれた。高麗時代末から李朝初期に朝鮮半島で制作されたと考えられている。
アクセス方法	
公開状況	岡山県立博物館保管
設備	
備考	